



菊 外 評 委 第 4 号

平成 29 年 2 月 2 日

菊池市長 江頭 実 様

菊池市総合計画外部評価委員会

会 長 上 野 眞 也

第 2 次菊池市総合計画前期基本計画の評価について（答申）

平成 28 年 11 月 11 日付け、菊企第 433 号により本委員会に諮問のありました「第 2 次菊池市総合計画前期基本計画の評価（市が実施した平成 27 年度の施策評価）」について、審議した結果、次のとおり委員会としての意見を取り纏めましたのでここに答申します。

平成 28 年度
菊池市外部評価委員会
答 申 書

平成 29 年 2 月
菊池市外部評価委員会

1. 総評

第2次菊池市総合計画の初年度の評価としては、将来像の実現に向けた各施策の取り組みが、概ね順調に進捗していると評価できる。とりわけ、菊池ブランドの確立や優良企業の誘致による雇用の創出等、経済活性化の仕組みづくりにおいては、一定の成果が出ていると評価できる。

今後は、評価制度を通して抽出された課題を改善に結びつけ、より良い施策に取り組むとともに、下記の点に配慮し取り組まれることを期待する。

- 菊池基準やインターネットショップの取り組みが、農業者に浸透しつつあり、販売額増加等の成果に結びついている。今後は、これを農家所得の向上につなげ菊池で農業を営むことが若い世代にとって魅力的な姿となるよう取り組まれない。
- 中学校期における学力低下の問題については、課題として明らかになった家庭学習の充実等に方策を講じるとともに、地元高校の定員割れ等地域における教育環境の現状に菊池市民自身が関心を持つような機運を醸成し、地域の教育力向上に努められたい。
- 地域の防災力向上のためには、自主防災組織を結成するだけでなく、防災訓練等を積み重ね、災害時に機能する組織づくりが重要である。また、防災士等地域防災のリーダーには積極的に女性を登用し、防災に女性・生活者の視点を入れるよう努められたい。
- 移住定住支援については、菊池市の子育て環境の優位性や、空き家バンクによる財産の有効活用等の情報発信に力を入れるとともに、空き家等の持ち主に継続的な働きかけを地道に行い、登録数の増加を移住者の増加につなげるよう期待する。

2. 各施策の評価結果

外部評価については、第2次菊池市総合計画前期基本計画（平成27年度～平成29年度）に掲げる前期3年で「目指す姿」に沿って、以下のとおり評価した。

◆10の目指す姿「1 儲かる農業と癒しの観光のまち」

【政策企画部、経済部、建設部】

■ 個別意見

○農業、観光とも順調に取り組みが進んでおり素晴らしいと思う。今後は所得の増加につなげ魅力ある産業に育てていくことが重要である。

○旅館やホテルごとの特徴や違いがなかなか分からないため、市外の方に紹介が難しい現状がある。パンフレット等を有効活用したり、温泉旅館組合と協力し個性ある魅力づくりや情報発信に努めること。

○観光地として菊池の名前が認知され観光客がたくさん訪れるようになってきている反面、宿泊施設のサービスが伴っているのか危惧している。お客さんに対するサービス等のソフト面の向上を図ること。

○菊芋チップスや菊芋茶等の特産品は、作って終わりではなく、宿泊者等の目に留まる販売方法の工夫が必要である。

○菊池温泉の泉質はとても良いが、お湯が熱いので、温度の調整ができれば子ども連れにも親しみやすい温泉になると考える。

◆10の目指す姿「2 活力ある商工業が生まれるまち」

【経済部、建設部】

■ 個別意見

○中心市街地については、商店街と温泉街のつながりにより魅力を創出し、観光客がまち歩きしたくなるような活性化策を検討されたい。

○企業誘致や雇用の創出については、非常に業績が上がっていると評価できる。

◆10の目指す姿「3 人を育む文教豊かなまち」

【政策企画部、教育委員会】

■ 個別意見

○菊池遺産については、登録された地域の宝を守り後世に伝えるとともに、菊池遺産散策コースのパンフレットを積極的に活用し地域と協力しながら観光客の増加につなげる必要がある。

○子供以上に親の学びが大切だと感じる。県が実施している親の学びプログラム等に幅広く参加者が集まるよう情報発信を工夫して欲しい。

○教育については地域の教育力というような、地域自体が教育に関心を持つよう機運の醸成を図ったり、大人から子どもまで様々な学ぶ機会に参加できるようにするために、もう一工夫し、菊池の良さにさらに磨きをかけて欲しい。

◆10の目指す姿「4 魅力ある地域を育むまち」

【政策企画部、教育委員会】

■ 個別意見

○斑蛇口湖ボート場が東京オリンピックボート競技でのノルウェーチームの合宿地に決まったが、この機会を今後の国際交流のきっかけにつなげて欲しい。

○国際交流については、菊池市の観光やビジネスにつながるような国際的な関わりを増やす施策に取り組む必要がある。

◆10の目指す姿「5 支えあう安心社会のまち」

【健康福祉部】

■ 個別意見

○菊池市の子育て支援の取り組みは魅力的だと感じる。小児医療機関のネットワークの確保は、昨年までの指摘を受け改善された成果が出ていると評価する。

○子育て支援の充実として、一番お金がかかる高校生まで医療費の無償化を検討して欲しい。

○乳がんの健診について、自治体によっては検査の際、検査に関する情報を丁寧に説明しているところがある。女性の病気で一番怖いものだと思うので、検査方法のアドバイス等提供ができないか検討して欲しい。

○低所得者の福祉の充実について、他法他施策の活用は新しく大変難しい事業だと思うが、相談者を最終セーフティネットの前段で止める意義は大きいため、引き続き取り組まれたい。

◆10の目指す姿「6 持続可能な循環型社会のまち」

【市民環境部、経済部、農業委員会】

■ 個別意見

○農地の集積を進め耕作放棄地を減らすために農地中間管理機構を活用するとともに、農地の貸し手となる人の信用を得ていただけるような仕組みづくりを菊池市から提案していく必要がある。

◆10の目指す姿「7 安全で安心して暮らせるまち」

【総務部、健康福祉部、建設部】

■ 個別意見

○防災については、女性の視点が重要であるため、率先して動ける女性のリーダーを今後増やして欲しい。また、自主防災組織等による自主防災訓練に取り組み、災害時に機能する体制づくりが必要である。

◆10の目指す姿「8 住みやすさ日本一のまち」

【政策企画部、建設部、水道局】

■ 個別意見

○住みやすさ日本一を実現するために、市民アンケート等のニーズ調査が必要だと感じる。とりわけ、移住者を対象としたアンケートが必要だと考える。

○移住定住の促進について、空き家バンク登録が少ないとのことだが、空き家自体はとても多いと感じる。もっと積極的に情報発信をする工夫が必要である。

○空き家バンクを利用すると、菊池市に所有する財産をもっとうまく活用できるというような情報の出し方をもう少し工夫し、利用登録の増加につなげる必要がある。

○空き家バンクの登録については、空き家になって数年経ってからようやく手放す方も多いため、一度説明をして断られたから終わりというのではなく、長期間で継続的に働きかける必要がある。

○住む場所を決めるときに合志市や大津町等いろいろ見たが、人の温かさで菊池市が一番住みやすいと感じ菊池市に決めた。子育てのサポートは高く評価できる。

◆10の目指す姿「9 パートナーシップのまち」

【政策企画部、総務部】

■ 個別意見

○審議会等における女性の登用率は、一番分かりやすい成果指標であり、改善に向けて全庁的にしっかり取り組むことが大事である。

○地域の文化的な要因が影響して、女性が前面に立てない雰囲気が残っているように感じる。

○審議会等の女性登用率を向上させるためには、委員会等の規則等を定めるときに「〇〇の長」という書き方から「代表者」という書き方に変えるだけでなく、さらに女性が出やすい環境づくりが必要である。

○男女共同参画の講習会はとてもいい内容だが、参加したいと思っても働いていて行けない方々が多い。夜間や土日に受講できる機会を検討していただきたい。

○広報誌について、描写的なものはすごくいいと思う。ただ、内容がいつもと変わらない感じがするので、もう少し内容を見直して欲しい。

◆10の目指す姿「10 行財政改革による健全なまち」

【政策企画部、総務部、市民環境部】

■ 個別意見

○職員削減を進める自治体が多い中、ある小さな自治体では、地域にとって市町村役場は非常に重要な雇用先であるため、一定の認められる資金で、最大限雇用できる人数を考え始めている。高齢社会において本当に住民に必要な行政サービスの提供につながるのであれば、市職員の雇用は将来的に重要となろう。単純に予算も職員も削減するというだけの行財政改革としない観点も必要と思う。

3. 外部評価委員会委員名簿

※外部評価委員会は、下記の8名（学識経験者1名、各種団体等7名）で構成

役職	氏名	任期	備考
会長	上野 眞也	平成27年4月1日～ 平成29年3月31日	熊本大学 教授
委員	川口 智秀	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日	菊池観光協会 副代表理事
委員	田中 弘文	平成27年4月1日～ 平成29年3月31日	菊池地域農業協同組合 理事
委員	笠 愛一郎	平成27年4月1日～ 平成29年3月31日	菊池市商工会 会長
委員	山口 法子	平成27年4月1日～ 平成29年3月31日	菊池市PTA連絡協議会 副会長
委員	高木 恵美	平成27年4月1日～ 平成29年3月31日	菊池市社会福祉協議会 次長
委員	伊賀 美和	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日	子育て分野
委員	橋本 誠也	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日	熊本県県北広域本部 振興課長